

いいだ 市議会だより

No. 193

平成27.1.21

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町



飯田市議会「議場お別れ会」



第4回定例会開催
議会報告会
ズバリ市政を問う
(代表質問 一般質問)

②

③

④ ⑤

歴代議長、市長らを招いて
行った旧議場のお別れ会

第4回定例会

飯田市行政手続条例の一部を改正する条例、飯田市一般会計補正予算(第4号)案など38議案を可決及び同意

定例会のあらまし

平成26年第4回定例会は、11月26日から12月18日まで、23日間の会期で開催されました。平成26年度飯田市一般会計補正予算(第4号)案など市長から39件の議案の提出がありました。このうち、3件は報告で、2件の人事案件は本会議で同意し、これら5件のほか34件は、所管の委員会で審査を行った後、本会議でいずれも原案のとおり可決しました。

市長提出議案のほかには、意見書提出に係る議会提出議案2件を可決しています。

請願は3件、陳情は2件を審議し、請願1件を採択しました。採択したもののほかは委員会審査の結果のとおり請願1件陳情1件を趣旨採択、請願1件を不採択、陳情1件を継続審査としました。

これら審議のほか、選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙を行いました。

また、代表質問、関連質問、一般質問では、17人の議員が市政全般にわたる質問を行いました。質問については4ページから紹介します。

議案に対する質疑と審査

市長提出議案、請願及び陳情は、総務、社会

文教、産業建設の各常任委員会に付託し、集中的に審査を行いました。委員会における質疑等の内容は、6ページからの常任委員会のページで紹介します。

本会議での反対討論

委員会の審査結果に対し、本会議で次の議案及び請願について反対の立場から討論がありましたので紹介します。

議案第140号、議案第141号及び議案第142号

議案第140号 飯田市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第141号 飯田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第142号 飯田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
(案件の概要は7ページを参照)

条例改正または制定に反対

条例案の保育に係る最低基準では従業員に保育士資格がなくても事業が可能であり、小規模の保育事業所では保育の質が確保できないことになることから条例案に反対。

請願第10号及び請願第11号

請願第10号 国に対し、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書を提出願いたい
請願第11号 国に対し、介護従事者等の処遇改善を求める意見書を提出願いたい

趣旨採択または不採択することに反対

医療及び介護の分野の人材確保は不可欠の課題であり、また、負担を患者、利用者にも求めるのも限界である。請願10号を趣旨採択、請願11号を不採択とはすべきではなく、いずれも採択すべきである。

本会議での反対の意思表示

委員会の審査結果に対し、本会議で反対の立場から意思表示がありましたので紹介します。
議案第163号

平成26年度飯田市一般会計補正予算(第5号)案可決としたことに反対。

意見書の提出

議会議案第12号

地域振興及び地域林業の確立に向けた山村振興法の延長及び施策の拡充に係る意見書の提出について

山村地域の振興のため、平成27年3月末で効力を失う山村振興法の延長及び山村振興に係る施策の充実を求める意見書の提出に係る議案を全会一致で議決し、国の関係機関に意見書を提出しました。

議会議案第13号

「手話言語法（仮称）等の早期制定を求める意見書の提出について

社会文教委員会が審査し、採択した請願第9号に基づき、社会文教委員会から意見書の提出に係る議案が提出されました。全会一致で議決し、国及び県の関係機関に意見書を提出しました。委員会における請願の審査については7ページで紹介しします。

同意した人事（敬称略）

- 固定資産評価審査委員会委員 長沼 弘明
- 飯田市千代財産区管理委員 川手 武文

選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙

平成26年12月23日に任期が満了する選挙管理委員会の委員及び補充員について本会議で選挙を行い、次の8人（敬称略）を選任しました。

- 選挙管理委員会の委員（4人）
 - 内山 健 塩澤 正夫
 - 平澤 壽彦 仲村 やす子
- 選挙管理委員会の委員の補充員（4人）
 - 長沼 善朗 北林 正直
 - 林 徳清 藤本 良人

議会報告会 543人のご参加ありがとうございました



10月6日開催 北部ブロック第1分科会の様子

10月1日から10月8日まで、遠山ブロックを皮切りに、市内6箇所で開催した議会報告会には、これまでで最大の合計543人の市民の皆さんにご参加いただきました。ご参加いただいた皆さんには、貴重なご意見ご要望をお寄せいただき、ありがとうございました。

- 各ブロックごとの参加者数は次のとおりです。
- 遠山ブロック (10月1日) 59人
- 西部ブロック (10月2日) 56人
- 中部ブロック (10月3日) 107人
- 北部ブロック (10月6日) 136人
- 飯田5地区ブロック (10月7日) 114人
- 竜東ブロック (10月8日) 71人



10月7日開催 飯田5地区ブロック第2分科会の様子



10月8日開催 竜東ブロック第3分科会の様子

- 報告会をとおして市民の皆さんから寄せられた御意見、御要望等は248件に整理し、内容に応じて次のとおり議会の各委員会に振り分けました。

総務委員会	社会文教委員会	産業建設委員会	リニア特別委員会	広報広聴委員会
56 件	50 件	62 件	14 件	66 件

- 振り分けた意見等は第4回定例会の各委員会において、①市の執行機関に申し送りをする事項及び②議会で扱う事項の2つに分け、②の議会で扱う事項については、「委員会として調査研究する課題とする。」、「調査、研究は行わないが行政評価の対象とする。」、「その他(お聞きするのみとする。）」の3つに分類しました。抽出した課題等については次回の議会だよりでお知らせします。

が 市政を問う!

代表質問

代表質問とは、各会派を代表して一人が市政全般について質問するものです。会派の意見を次年度の予算に反映させやすいよう飯田市議会では12月(第4回定例会)に行っています。代表質問の概要を紹介します。(質問順)

会派 のぞみ

清水 勇 議員

Q 平成27年度の予算編成の基本的方針と重点項目をどう考えるか。

A 「文化経済自立都市」を目指す第5次基本構想基本計画の推進及びリニア将来ビジョンの実現を基本的な方針とし、「共創の場」から新たな仕組み、または活動を生み出せるように取り組むことを重点とする。また、限られた財源の中で選択と集中の視点からメリハリをつけた予算編成に努める。

Q 工業用地の確保と企業誘致に関し、起業家支援策及び地域産業の育成支援の現状と今後の取り組みはどうか。

A 新たな産業団地の整備が喫緊の課題であるところ、三遠南信自動車道による交通の利便性を生かせる龍江地区を候補地に選定し、現在測量作業を進めている。企業立地、創業等の支援については、補助金の交付、制度資金による金融支援、利子助成、起業家への相談業務、インキュベーション施設への誘導などを行っている。

■市長の市政経営について ■教育について ■子育て・医療・福祉について ■危機管理について ■自然・環境について ■多様性に富んだ暮らしと文化を次世代に継承する地域づくり ■地域課題について

関連質問 湯澤 啓次 議員

■リニア中央新幹線事業説明会を経て見えてきた課題は何か及び今後の市の取り組み

は、など4件

市民。パワー

木下 容子 議員

Q 特別養護老人ホーム飯田荘の改修の見直しはどうか。

A 平成27年度から29年度までの第6期介護保険事業計画の期間内に、民間の社会福祉法人による特養の整備の希望などを勘案して現在の規模を縮小して建替えを行いたい。

Q 安全安心なまちづくりについて、記録的な大雪を想定した対策の見直しはどうか。

A 今年2月の記録的な豪雪を踏まえ、長野県が除雪計画の見直しを行った。市でもこれを踏まえ、駅や病院へのアクセス道路、バス路線など除雪を行う市道の指定の追加を行った。また、豪雪時に通常の路線に加えて除雪を行う路線についても地元要望などを踏まえた追加を行った。

■市長の政治姿勢と市政運営について ■新年度予算編成と今後の財政運営について ■リニア中央新幹線の取り組みについて ■定住促進と人材誘導の取り組み ■三遠南信連携と地域活性化策 ■人づくり教育について

関連質問 森本 政人 議員

■子どもたちの体力・学力低下及び発達障害とメディアとの関係を心配する声があるが、これについてどう考えるか、など3件

日本共産党

後藤 莊一 議員

Q 市長の政治姿勢に関し、市長のこれまでの市政運営は、自己評価するとどうであったか。

A 産業振興の分野、安全安心の地域づくりなど様々な分野で様々な課題に直面してきたが、多くの方々からご意見をいただく中で難しい決断をしてきた。今後も誤りない決断をするためにデザイン思考を駆使した事業構想力が求められると考えている。

Q アベノミクスにより、格差の拡大、貧困・低所得者の拡大が進んだが、どうみるか。

A 日本経済が緩やかな回復基調が続いているといわれる中でも非正規雇用の増加など所得のマイナスの影響が大きいところ、当地域では雇用情勢には改善もみられる。付加価値の高い産業づくりを目指し地域の産業構造を転換し、こうした取り組みを起点に経済を活性化し、就業構造も改善することが大切と考えている。

関連質問 古川 仁 議員

■来年4月から介護保険制度が変わるが、介護保険制度を利用する場合、市の窓口の対応など、どのようになるか、など3件

会派 みらい

福沢 清 議員

Q 地域密着型の建築職人の育成についてどう考えるか。

A 市では、技術者の地位、技術の向上を図ることを目的に技能労働者褒賞を贈り技能者支援を行っている。また、市内の各種団体、組合等では建築職人の育成に御努力いただいている。技術技能の継承は大切と認識しており、こういった団体との連携及び支援を継続していきたい。

Q リニア中央新幹線に関し、乗換新駅についての考え方はどうか。

A 地域公共交通のひとつである飯田線の乗り継ぎは重要であり、飯田線に新駅を設置したいと考えている。今後検討を行う中でJR東海と協議していきたい。

■「戦略的地域づくり」について ■人口減、地域縮小について ■地育力向上をめざした人づくりについて ■健やかに安心して暮らせるまちづくり ■ボイ捨て条例について ■地域の自然・文化を生かすまちづくり ■中心市街地活性化計画について ■地域自治組織と地域の仕組み ■財政運営について

関連質問 原 和世 議員

■リニア推進に係る「戦略的地域づくり」と事業構想大学院大学の関連は、など2件

公明党

永井 一英 議員

Q 市長は、市の将来像について、政令指定都市でもなく、30万都市でもなく、10万都市と言われるが、どのような考えを持っているか。

A 10万人規模であると住民相互の顔が見え、臨機応変な対応がしやすい。また職場、家庭及び地域のバランスが取れる魅力的な都市づくりができる規模である。こういうことから小さな世界都市を目指すことにも適していると考えている。

Q 一旦は飯田を離れた若者に、どうしても飯田に帰って来てほしいと考えるなら、様々な視点から可能性を見だし、総合的にデザインする部署が必要ではないか。

A 総合的なデザインの必要性は認識している。特定の部署で対応するほかに組織横断的なプロジェクトを立ち上げる方法もあり、総合的に検討していく必要がある。■市長の政治姿勢、市政経営と予算編成について ■これからの保健・医療・介護・福祉、子育て支援のあり方について ■超長期的な目指す都市像・環境文化都市の具現化に向けて ■子どもたちの幸福を実現する教育行政について

一般質問

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質問し、説明を求めるものです。第4回定例会での一般質問の概要を紹介します。(質問順)

※■は、そのほかの質問項目

公契約条例制定のプロセスは

清水 可晴 議員 (市民パワー)

Q 市は、公契約条例の制定に向けて具体的な検討に入ったところであるが、制定までのプロセスが重要と考える。条例制定に際し、審議会を設置して検討する事例がみられるが、市ではどうか。

A 既存の公契約条例には、理念を示したものの及び賃金の下限額を定めたものがあり、また、条例案が否決された例もある。公契約条例制定に当たっては、関係する方々が、条例の理念を共有し、その内容やあり方について十分な協議を行って意思疎通をはかるなど、プロセスを大切にすり取り組みを進めたいと考えている。

「飯田版ネウボラ」を実施してはどうか

村松 まり子 議員 (公明党)

Q 安心して子どもを産み育てられる環境整備について、フィンランドの「ネウボラ」という制度を参考に取組んでいられる自治体がある。妊娠、出産及び子育てへの切れ目のない支援体制構築のため、飯田版「ネウボラ」を実施してはどうか。

A 「ネウボラ」は、フィンランドの母子支援制度で、妊娠期から就学期にかけての子どもと家族に対し、できるだけ同じ担当者に関わる形で、切れ目のない支援が行われるものと聞いている。市では、同じ担当者による継続した相談体制は難しいが、大切なのは連携した支援体制だと考えている。

将来的には、子ども家庭応援センターで扱う相談をはじめとした体制が飯田版「ネウボラ」のような形になればよいと思う。

自転車市民共同利用システムの利用者について、モニター制度を導入しては

木下 徳康 議員 (会派のぞみ)

Q 自転車市民共同利用システムに関して、自転車利用者の目線による道路と歩道、信号機の状態、渋滞の状態、要望等の情報を集め、基礎データとして活用することが有効と考える。システムの利用者にモニターとしてこれらに関するレポートの提出を義務付けてはどうか。

A 自転車市民共同利用システムの利用者に対し、アンケートをとることは、内部で検討しているところである。ご提案いただいたところでもあるので、再度また検討していきたい。

サブカルチャーの振興に資する環境整備の考えは

新井 信一郎 議員 (会派のぞみ)

Q リニア中央新幹線の開通後、飯田市が世界から注目を集めるには、人が集まる「楽しい」要素の創造が必要とリニア未来シンポジウムで示された。その創造のため、サブカルチャーを振興し、市民の手により初音ミクのようなボーカロイドをプロデュースできる環境整備の考えは。

A ボーカロイドは、作成ノウハウもインターネット上で公開されており、パン

コンとソフトがあれば作成可能である。11月2日に行ったシンポジウムは若い皆さん方多数にご協力いただけており、こうした機運を盛り上げていきたい。

■地方創生法成立に係る市の方針について

■総合観光型リゾートに対する市の考えは

■マイナンバー制度を活用した市の事務の効率化について

リニア中央新幹線の工事計画に臨む市の姿勢は

小倉 高広 議員 (日本共産党)

Q リニア中央新幹線の工事に関して、JR東海の計画と住民の要望が対立したとき市はどのような立場に立つか。

A JR東海は事業説明会に、参加者からの質問が尽きるまで説明を行うという方針で臨んでおり、事業者のスタンスとして大切なことと認識している。事業に関し住民の皆さんが不安を感じていることは認識しており、今後も従前にも増した丁寧な説明をJR東海にお願いしていくというのが基本的な姿勢である。市としても住民の皆さんが心配されているコミュニケーションの維持のために最大限の努力を行うという立場で対応を考えていく。

施策評価における成果指標に対する市民からの提言への対応は

山崎 昌伸 議員 (無党派)

Q 第5次基本構想基本計画推進委員会による「施策評価に対する提言」では、成果指標に関して3年連続で同様の提言がなされているが、これをどう受け止め、今後どのように対応していくか。

A 成果指標は施策レベルのものや事務事業レベルのもの、2種類がある。施策レベルのものは基本計画の一部という位置づけもあり、目標として設定しているのは変更が難しい部分があり、これについては、提言として受け止めながら検討させて

いただいている。事務事業レベルのものは提言により積極的に改善を進めてきている。

健全な高齢者が集える施設整備の考えは

熊谷 泰人 議員 (会派のぞみ)

Q 高齢者の健康維持・生涯スポーツ推進のため、健全な高齢者がコミュニケーションを取りながら集える施設整備の考えは。

A 市の健康づくりの重点プロジェクトとして、健康寿命を延ばしていくという取り組みを行っているところである。身近な地域の高齢者の生きがいづくり、交流の場として高齢者クラブの活動が市内各地域で行われている。そのクラブの活動の場として地域の公民館、集会所等が活用されており、今後もそのような場所を活用していったらなければならない。

■シティ・プロモーションとスポーツ振興について

リニア中央新幹線の建設工事に際し、環境保全に対する配慮は

井坪 隆 議員 (会派みらい)

Q リニア中央新幹線の建設工事に向けて、環境保全に対する地元への配慮を、市長はどのように認識しているか。

A リニア中央新幹線建設に関し、環境影響評価の手続が行われたところであるが、JR東海は、この手続に際し作成した環境影響評価書に記載した内容は、その実行を社会に対して約束した内容だ、としている。市としては、この評価書に記載された内容の実行を求めるほか、記載のない内容に係る地元要望等については、十分な説明を地元に行いたうえ、文書を取り交わすことを求めている。地元の気持ち、考えを十二分に踏まえてJR東海と協議していく。

総務委員会

11月26日及び12月10日に委員会を開催しました。委員会での審査の様子を紹介します。



第4回定例会における総務委員会の様子

議案第164号

飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

案件の概要
人事院勧告に準じて職員等の給与、期末勤勉手当等の支給率を改正するため、飯田市職員の給与に関する条例など6条例の一部を改正する。

臨時職員等の給与への人事院勧告の影響は

Q 本年度の人事院勧告は、平成26年度の給与改定及び給与制度の総合見直しという2つからなっているが、これは臨時職員、非常勤職員の賃金等や人件費的な委託料にどのように影響するか。

A 臨時職員等の待遇等は、県下他市の状況を勘案し、国の動向も見る中で検討し決定している。

また、委託料は、積算単価には影響するものの人事院勧告に直接連動するものではない。

議案第163号

平成26年度飯田市一般会計補正予算(第5号)案

マイナンバー制に反対

■マイナンバー制度の導入に係る経費が予算案に含まれることから、反対の立場から討論がありました。

★反対討論

社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度は、1枚のカードに多くの情報を集約するものであり、情報の流失などの危険があり、認めることができない。

■採決の結果、賛成多数で可決しました。

請願・陳情審査 市民の願いはどうなった

陳情第8号

★陳情者

NPO法人環境わくわく体験スクール
理事長 湯澤眞理子氏

■慎重な審査の結果

「趣旨採択」としました。

★陳情の趣旨

国及び県に対し、再生可能エネルギーの普及に関する意見書を提出願いたい。

★委員会での主な意見

○再生可能エネルギーの普及は、必要であり、理解できるが、提案されている推進方法の中には、技術的に厳しいものもあり、また、市民の負担が増えたり、市民の利益が損なわれりするものもある。市議会として意見書をあげるにはなじまないため趣旨採択とすべき。



再生可能エネルギー活用を取り組みが進む飯田市山本都市農村交流促進施設(通称 杵原校舎)

陳情第9号

★陳情者

木村正哲氏 ほか1人

■慎重な審査の結果 「継続審査」としました。

★陳情の趣旨

国に対し、人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める意見書を提出願いたい。

★委員会での主な意見

○大変難しい問題でもあるが、差別を許さない社会をめざす上でもヘイトスピーチの法制化は必要であり、採択。
○要望にあるヘイトスピーチは、特殊な団体が一部の民族をとらえて差別的言動を繰り返している特殊な事例であり、犯罪行為であるが、日本という国が法制化により禁止すべきとは考えられず、不採択。
○人種差別には、もちろん反対するが、日本と韓国、これまで、そして現在の関係を考慮すると一方的に日本だけの法制化の対応が問われるものではない。
また、ひとつの国に限定した問題でもなく、慎重に研究・検討し判断すべきであり、継続審査。

○当市の進める多文化共生社会をめざすまちづくりから、外国人集住都市会議の会員都市、開催都市としても、韓国のみならず、あらゆる人種差別に反対していくべきである。しかし、ヘイトスピーチには、全ての政党が何らかの対応をしなければとしており、この衆院選が終われば、議論がスタートすると考えられる。新規の陳情でもあり、今は国の動向を見守るべきことから継続審査。
○ヘイトスピーチについては、その禁止に向け、取り組んでいかなければならないが、その規制については、様々な議論がある。
要望は具体的な内容に踏み込んだものであり、国レベルで検討中の段階では、継続審査とすべき。

社会文教委員会

12月11日に委員会を開催しました。委員会での審査の様子を紹介します。

議案第140号

飯田市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

子ども・子育て支援法の施行に伴い、保育の必要性の認定の基準を定める。

現行における育児休業の際の保育の必要性は

Q 保育の必要性の認定の基準に、新たに育児休業をする場合を規定したことだが、現行はどうか。

A 現行でも、この場合は受け入れていた。国から基準を示されたこともあり、実態に合わせて規定することとした。

議案第141号

飯田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

案件の概要

児童福祉法の改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める。

事業申請の見込みは

Q 家庭的保育事業の基準を定めるとのことだが、飯田市において事業申請は見込まれるか。

A 来年度から直ちにというわけではなから今後、地域事情にあわせての導

入も考えられる。

子ども・子育て会議での議論は

Q 飯田市版子ども・子育て会議で議論したと思うが、会議において出された意見は。

A 条例施行後も、飯田市版子ども・子育て会議において継続的に検証し、必要に応じて条例改正等も求めていくこと、市は認可を、法の趣旨に沿って適切に運用していくことの2点が付帯意見としてあった。

議案第142号

飯田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

案件の概要

子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める。

Q 子ども・子育て支援新制度において、幼児教育の質・量の拡充が打ち出されており、文部科学省から教育委員会へも通知等がされている。教育委員会としての考えは。

A 子ども・子育て会議にも出席し、課題等について共有している。幼・保・小の連携については、従来からも取り組んでおり、今後も情報共有を密にしながら取り組みたい。

■質疑の後、議案第140号、議案第141号及び議案第142号に対し、保育における責任に課題があり、また、保育の質の低下が危惧されるとして、反対の立場から討論がありました。

■採決の結果、いずれも賛成多数で可決しました。

議案第145号

飯田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

案件の概要

介護保険法の改正に伴い、地域包括支援センターの運営及び人員に関する基準を定める。

今後の地域包括支援センターのあり方はどうか

Q 今回、基準を定めるが、今後の地域包括支援センターのあり方はどうか。

A 今後構築する地域包括ケアシステムの中で、地域包括支援センターの果たす役割は、益々重要と考えている。機能を充実し、人員はできるだけ拡充を図りたい。

請願・陳情審査 市民の願いはどうなった

請願第9号

★請願者

飯伊聴覚障害者協会

会長 吉田 伊佐男氏 ほか2人

■慎重な審査の結果「採択」としました。

★請願の趣旨

国及び県に対し、「手話言語法(仮称)」等の早期制定を求める意見書を提出願いたい。

★委員会での主な意見

○法制度の中で手話の位置付けを明確にする必要があること、特別支援学校内においても手話教育の充実を図る必要があることなどから、趣旨適当で、採択。

請願第10号

★請願者

飯田市民医連労働組合

執行委員長 伊壺一輝氏 ほか1人

■慎重な審査の結果

「趣旨採択」としました。

★請願の趣旨

国に対し、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書を提出願いたい。

★委員会での主な意見

○看護師等の労働環境を改善すること、医師、看護師等の増員を求めることは趣旨適当で、採択。

○平成26年6月から、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するために法律による取り組みが始まっている。既に取り組みが始まっていることに対し、意見書を提出するのはどうか。しかし、趣旨はわかるので、趣旨採択。

請願第11号

★請願者

飯田市民医連労働組合

執行委員長 伊壺一輝氏 ほか1人

■慎重な審査の結果

「不採択」としました。

★請願の趣旨

国に対し、介護従事者等の処遇改善を求める意見書を提出願いたい。

★委員会での主な意見

○介護従事者等の実態は大変であり、趣旨適当で採択。

○請願では、処遇改善の費用を保険料や利用料に転嫁しないこととなっている。国や地方の財政状況を鑑みの中で、利用者負担も避けては通れないことから、不採択。

産業建設委員会

10月20日から22日まで管外視察を行い、11月26日及び12月12日に委員会を開催しました。これらの様子を紹介します。

議案第146号

飯田市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

施設の改修に伴い、新たに整備された会議室の使用料等を定める。

センターに新たな会議室を増築したのか

Q 会議室1及び会議室2が新たに使用できるようになったとのことであるが、会議室を増築したのか。

A 会議室は以前から自治振興センターの2階にあったが、公民館として使用してこなかった。今回の耐震改修にあわせ、公民館として一体的な使用が可能となった。

議案第148号

飯田市天龍峡温泉交流館条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

天龍峡温泉交流館を指定管理者に管理させるため、必要な規定の整備を行う。

施設の修繕に係る費用負担の基準は決まっているか

Q 施設が老朽化しているが、今後修繕等を行う際の市と指定管理者の費用負担に関する基準等は決まっているか。

A 今回は指定管理者を導入するための条例改正である。修繕等を行う際の基準については、今後行う指定管理者の選定に伴い、指定管理者と協議を行うっていく。

議案第158号

損害賠償の額を定めることについて

案件の概要

平成26年8月2日に市有地で発生した、倒木による自動車の物的損害に係る賠償額を定める。

過失割合に関する判断は

Q 市が指定した駐車場以外に駐車をしていて被害にあっており、先方の過失も大きいと考えるが、過失割合についてはどのように判断をしたのか。

A 現地は、市の所有地を、何人かに分けて貸しているところである。今回相手方が駐車していた場所は、共有地的に使用している場所であり、過失割合等については、弁護士と相談をしたうえで、総合的に判断をしたものである。

議案第163号

平成26年度飯田市一般会計補正予算(第5号)案

市田柿の脱針式皮むき器の補助総額と事業予定は

Q 今回の補正により、市田柿脱針式皮むき器の補助総額と事業予定はどのようなになったか。

A 今回の補正は、13台の導入による補助の増加を見込んだものである。これにより、予算の積算の上で32台の導入補助を見込んでおり、補助金総額は千8百万円となる。

EMCセンターの整備事業費及びその内容は

Q EMCセンター試験設備を整備することのことだが、事業費の総額及びその内容は。

A 事業費総額は5千4百万円余であり、ノイズ対策用の高周波アンテナを2台購入する。南信州・飯田産業センターが事業主体である。

道路補修に対する地元要望への対応は

Q 道路補修事業について、毎年、地区から多くの要望がされていると思うが、どのように対応をしているか。

A 市全体で毎年2千件ほどの地区要望がある。すべての箇所の補修は予算的な限りもあり難しい。職員が現地を確認し、危険性の高いところから順次補修をしている。

管外視察を実施しました

実施日：26年10月20日(月)～22日(水)
調査項目

- 1 観光戦略からのシティブランド事業の取り組みについて [熊本市]
- 2 黒川温泉観光旅館協同組合の取り組みについて [熊本県阿蘇郡南小国町]
- 3 新幹線によるまちづくり 駅周辺整備と誘客プロモーションの取り組みについて [佐賀県鳥栖市]
- 4 J A糸島の産直市場「伊都菜彩」視察 [福岡県糸島市]
- 5 鳥獣被害対策、農業農村6次産業化支援事業の取り組みについて [福岡県糸島市]



糸島市での視察の様子



リニア推進特別委員会

10月29日に管外視察を実施するなどの活動を行っています。その様子を紹介いたします。

管外視察の実施

視察先は、飯田市と同じくリニア中央新幹線の中間駅が設置される中津川市です。

委員8人のほか、正副議長、市長部局の職員も参加し、次のような内容の視察を行い、中津川市の職員から説明を受けました。

- ① リニア中央新幹線の駅周辺及びアクセス道路構想等の進捗状況について
- ② リニア中央新幹線の工事に対する対応等について
- ③ 駅建設予定地の現地の状況

説明会の状況を聴取

12月16日には、J R 東海による事業者説明会の状況及び飯田建設事務所による

旧議場のお別れ会を開催

市役所新庁舎の建築に伴い、庁舎の北東部分にあった旧議場は、平成26年12月18日に行われた第4回定例会の最終日の会議の終了をもってその役目を終え、52年間の歴史の幕を閉じました。

最終日の閉会后、この旧議場に歴代の議長、現市長らを招き、お別れ会を開催しました。

歴代の議長には、それぞれから議場での思い出を語っていただき、往時を振り返りながら名残を惜しみました。

旧議場は、市役所庁舎の耐震補強工事に合わせ、間もなく解体されます。

様々な飯田市の歴史を刻んできた議場は、新庁舎内にその場所を移すことになります。



歴代議長、市長、副市長とともに記念撮影



管外視察において現地で説明を受ける委員ら

リニア関連道路整備等に関する説明会について報告を受けました。

議場が新庁舎に移転しました

昨年12月に飯田市役所新庁舎が完成し、平成27年第1回定例会からは新議場で議会が開催されることとなりました。

新庁舎における議場は、新庁舎南側のB棟（議会防災棟）の2階に位置しています。災害発生時には災害対策本部として使用することが想定されているなど、多目的な利用ができるように以前とは異なり床に段差のない構造となっています。

議場として使用する際のレイアウトは、傍聴席から見て議長席を正面中央に置き、その手前の右側に議員の席を、左側に執行機関の職員の席を対面式に配置するものとなりました。

これにより、傍聴席から常時、議員と執行機関双方の顔が見えるようになります。

飯田市議会は、市民に開かれた議会を目指しており、市民の皆さんにはぜひ、この新しい議場での、まさに「顔が見える議会」としての審議を、ご覧いただきたいと考えます。

傍聴をお待ちしています。



市役所新庁舎。右側が議場のあるB棟



新議場。右が議員の席、左が執行機関の席。手前は傍聴席

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～趣味は周五郎～

ながい かずひで
永井 一英

時代劇は嫌いじゃない。「武士の一分」「清左衛門残日録」も見たし、特に中村吉右衛門主演の「鬼平犯科帳」は、録画してまで大体見た。最近、軍師官兵衛が面白い。NHK出版の本まで購入して読んだ。

しかし、何かが違う。市井の人々への厳しくそして優しい眼差し、物事の本質を見極めようとする目線、心の機微を描いた文章表現の素晴らしさ、読後感を大切に作る気風、作品の背景にある思想性と哲学性、作者自身が曲軒と言われた意志の強さなど山本周五郎氏の作品が私は大好きだ。

最近趣味が一つ増えた。運動音痴の私にスポーツの趣味が加わった。しかし、全然うまくならない。やはり大会にだけ出ても、練習しなければ上達しないことを発見した。天候や年齢に関係なく楽しめるスポーツなので、気長にやろうと思う。

しかし、今から一番楽しみなのは、「もう一度イギリスか、それともイタリアにゆっくり行ってみたいね」と上さんと話しているとき(?)だ。



～映画に魅せられて～

きのした ようこ
木下 容子

初めて観た映画は、家族で観たディズニーの「バンビ」でした。スクリーン内を自由に動き回る動物たちの姿に目を見張った感動は、いまだに忘れることができません。

その後たくさんの映画を観ました。「ベン・ハー」や「十戒」などでは大きなスケールを楽しみ、「ローマの休日」「慕情」「ある愛の詩」では胸キュンの思いを抱きました。「風と共に去りぬ」を何回観たことでしょうか。「ウエストサイド物語」「サウンド・オブ・ミュージック」「レ・ミゼラブル」などではミュージカルの素晴らしさを味わいました。「映画鑑賞はテレビで十分」という方もいますが、やはり映画館で観る醍醐味は格別です。

最近の仕事の関係で「映画好き」というのも面映ゆいほど鑑賞の機会が減ってしまいましたが、今年の「市民のつどい」には、映画字幕翻訳者の戸田奈津子さんが「字幕の中に人生」と題して講演をさせていただきます。今から胸を躍らせて、3月1日を待っています。

市議会ウォッチング



平成26年第4回定例会の代表質問、一般質問を傍聴された方からアンケートで寄せられたご意見を紹介します。

◇一般質問を聴くことができ、たいへん有意義でした。最後までなる議場での傍聴、思い出となりました。

◇大事な内容を質問され、また、しっかりした答弁で、市政、議会活動について理解を深めることができるので、多くの方に傍聴してほしいです。

◇質問、答弁とも用意された原稿を読んでいくだけで迫力がありません。もう少し話す感じがあれば、と思います。また、鋭い再質問等で具体的な内容を引き出す努力も必要だと思いました。

本会議、委員会とも個人、団体で自由に傍聴いただけます。次回定例会は新議場での開催となりますので、ぜひ傍聴にお越しく下さい。事前予約は不要ですが、団体等大勢での傍聴は事前に議会事務局に連絡をお願いします。

議会中継をしています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、一般質問の様相をユーチューブ(インターネットによるオンライン動画配信サービス)で中継しています。ユーチューブは録画映像も見られます。ぜひ、ご覧ください。<http://www.city.iida.lg.jp/>

編集後記

今季は幾分、冬が厳しいのかなぁ…。そして自然災害が連続して発生してしまった昨今。そんな中、昨年末に選ばれた漢字一文字は「税」。皆で納め、支えあうからこそ得られる日々暮らしの安心安全。ひとつの税徴収の手法、消費税。それを巡っての衆議院解散総選挙。結果は民意だから良いとして、戦後最低の投票率。子どもたちや意思を伝えることの出来がたい多くの方の思いの代弁者は、一体誰なのだろうか。せめてこの議会だよりは、すべての有権者が手にし、次世代を担う皆さん方に説明をしていただきたいのです。飯田市っていい町なんだよって。そして、その主役はみんななんだよって。

議会の動き(予定)

- 次回平成27年第1回(3月)定例会は 2月25日(水) 開会です。
- 次回定例会に向けた議会への請願・陳情の締め切りは 2月19日(木) 午後5時です。

広報広聴委員会

委員長	木下 容子	副委員長	湊 猛
委員	木下 徳康		熊谷 泰人
	新井信一郎		古川 仁
			村松まり子